

共生社会に向けた草加分校の取り組み

草加かがやき特別支援学校 草加分校

1 本校の特色

平成20年4月に埼玉県立三郷特別支援学校草加分校として、埼玉県立草加西高等学校内に開校しました。県立高等学校内の分校としては、川越特別支援学校川越たかしな分校、大宮北特別支援学校さいたま西分校とともに県内初めての設置であり、普通科の高等部6クラス（定員48名）で開設しています。



平成25年4月に新たに開校した埼玉県立草加かがやき特別支援学校へ移管され、埼玉県立草加かがやき特別支援学校草加分校に校名を変更し、現在に至ります。普通科ではありますが、社会で自立できる力を育てる職業教育・キャリア教育に重点をおいた教育課程を編成しています。草加西高等学校という施設を共有し、体育祭や文化祭など大きな行事をともに行う両校は様々な場面での交流を模索し今後も共存共栄を目指していきます。

2 県立草加西高校への相談支援

開校12年目を迎え草加西高校と草加分校の関わりは、支援相談分野についても徐々に連携されるようになってきました。高校内にも多様な発達の生徒が在籍しており、学業不振、友人関係でのトラブルを抱える生徒について、高校担任や高校特別支援教育コーディネーターから分校コーディネーターに相談があります。また、かがやき本校のコーディネーターと連携しながら、西高校生徒についての授業見学や情報交換会、支援会議を行いました。今年も学年が上がるうえで進路に向けてのアドバイスや、相談機関の紹介など継続的な支援相談を行っていきます。

3 地域社会、西高生との関わり

本校の職業教育では、カリキュラムの中の「職業」において、「メンテナンス」「食品加工」「工芸」「農園芸」の4つの分野を、週あたり14時間学習しています。卒業後、社会の中で働くことを念頭に、外部講師（パン屋さん、ビルメンテナンス会社等）の指導を受け、より社会に近い活動をそれぞれの班が工夫し作業しています。

[職業の分野別実施内容]

分野名	内容	地域に向けた活動
メンテナンス	床清掃（ポリッシャー）やトイレ清掃を中心として窓ガラスや流し清掃等、ビルメンテナンスの基礎的な知識と技術を身につける。また、古新聞やシュレッダーごみを活用したエコ製品を製造している。	地元の自治会館などの清掃活動 外部企業による花壇の刈込み体験 エコ製品の分校祭で頒布
食品加工	パンや焼き菓子を製品化し、衛生管理、販売業務、会計報告などの一連の業務を体験しながら、食品加工における基本的な知識や技術を習得している。	草加西高校、見学会参加者へのパン・焼き菓子の販売活動 職業教育フェアでの地域への販売

<p>工芸</p>	<p>裁縫や工芸品などの作成体験を通じて、ものづくりの魅力を習得しながら、製作の作業手順や技術を習得している。</p>	<p>「さをり織り」作品のプレゼント 地域の祭りで食器や布製品の販売</p>
<p>農園芸</p>	<p>農作物の栽培から農地の管理、農機具の使用など、実践的な体験を通じて、農園芸の基礎的な知識や技術を習得する。頒布により販売体験も行っている。</p>	<p>農園芸頒布（西高、分校） 夏季休業中の収穫体験事業</p>



原町会館清掃

西高 昼販売



また1年に1回、西高生が「職業」の授業に参加する職業交流会があります。本校の生徒が各職業班で普段、自分たちが実践している活動を西高校生に教え、共に働く活動を行うというものです。また、西高生とともに地域清掃活動や、緑化活動も行っています。



職業交流会



緑化交流会

